

2 線形写像と行列 (その 2) / 線形写像の像と核

演習 2.1 次で定義される線形写像 $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2$ について, $\text{Im } f$ と $\text{Ker } f$ とをそれぞれ求めよ.

$$(1) f: \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} x \\ -x \end{pmatrix} \quad (2) f: \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} x + 2y \\ x - y \end{pmatrix}$$

$$(3) f: \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} 0 \\ x - y \end{pmatrix}$$

演習 2.2 $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^3$ を

$$f: \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} x_1 + 2x_2 \\ 2x_1 - x_2 \\ 2x_1 + 3x_2 \end{pmatrix}$$

によって定める. このとき, 次のベクトル $v \in \mathbb{R}^3$ が $\text{Im } f$ に入っているかどうかを判定せよ. また, もし入っている場合, $f(x) = v$ となるような $x \in \mathbb{R}^2$ を求めよ.

$$(1) v = \begin{pmatrix} 5 \\ 0 \\ 8 \end{pmatrix} \quad (2) v = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 5 \end{pmatrix} \quad (3) v = \begin{pmatrix} 0 \\ 5 \\ 1 \end{pmatrix}$$

演習 2.3 K を \mathbb{R} または \mathbb{C} とする.

(1) $\text{id}: K^n \rightarrow K^n, v \mapsto v$ を恒等写像 (identity map) という. この id は線形写像で, 単位行列 E によって表示されることを確認せよ.

(2) $f: K^n \rightarrow K^n$ を線形写像とし, 正方行列 A を用いて $f(v) = Av$ ($v \in K^n$) と表されているとする. このとき,

$$f \text{ が全単射} \Leftrightarrow A \text{ が正則行列}$$

を示せ.

[ヒント] (2) (\Rightarrow) もし f が全単射ならば逆写像 $f^{-1}: K^n \rightarrow K^n$ が存在する ($f \circ f^{-1} = f^{-1} \circ f = \text{id}$). このとき f^{-1} も線形写像になることを示し, その表現行列が何になるかを考えよう.